

製品名: UHRF1 (1H9) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03412**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG2b
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 90 kDa; Observed MW: 90 kDa

抗原情報

遺伝子名	UHRF1
別名	Np95; hNP95; ICBP90; RNF106
遺伝子 ID	29128
SwissProt ID	Q96T88
免疫原	ヒト UHRF1 の組み換えタンパク質

背景

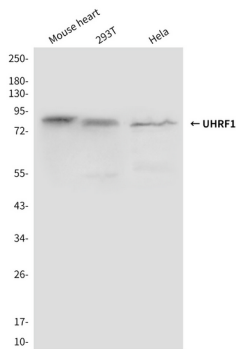
この遺伝子は、RING フィンガー型 E3 ユビキチンリガーゼのサブファミリーに属するタンパク質をコードしています。このタンパク質は特定の DNA 配列に結合し、ヒストン脱アセチル化酵素をリクルートすることで遺伝子発現を制御します。発現は細胞周期の G1

期後期にピークに達し、G2期およびM期を通して持続します。トポイソメラーゼ II α および網膜芽細胞腫遺伝子の発現を制御することでG1/S期移行に主要な役割を果たし、p53依存性DNA損傷チェックポイントにおいても機能します。エピジェネティック情報の統合におけるハブタンパク質と考えられています。この遺伝子は様々な癌で発現が亢進していることから、治療標的となると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが見つっています。関連する擬似遺伝子が12番染色体上に存在する。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



UHRF1抗体を使用したマウス心臓、293T、HelaNE、およびHela溶解物中のUHRF1のウエスタンブロット分析。